

21. 子宮がん

○

○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○:あり ×:なし

○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日						各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ					
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術		化学療法	放射線療法		光線力 学療法		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容				
			開腹 手術	腹腔鏡下 手術(腔式)		体外 照射	小線源 治療				治療内容	治療実績	医師の 専門 分野		
1 放射線治療科	1	0	状況	×	×	×	○	×	×	小線源治療が出来ないため根治的放射線治療は、他院へ紹介しています。術後照射を中心に行っています。	ア	診療科のご案内 http://www.ishikiriseiki.or.jp	掲載なし	掲載なし	掲載あり
			実績	なし	なし	なし	あり	なし	なし		イ	診療科のご案内 http://www.ishikiriseiki.or.jp	掲載なし	掲載なし	掲載あり
2 婦人科	4	4	状況	○	×	○	×	×	×	子宮頸がん手術では、神経温存を基本とし手術による合併症を防いでいます。脚のむくみ無し、排尿障害無しです。	ア	診療科のご案内 http://www.ishikiriseiki.or.jp	掲載あり	掲載なし	掲載あり
			実績	あり	なし	あり	なし	なし	なし		イ	診療科のご案内 http://www.ishikiriseiki.or.jp	掲載あり	掲載なし	掲載あり
3			状況								ア	http://			
			実績								イ	http://			
4			状況								ア	http://			
			実績								イ	http://			
5			状況								ア	http://			
			実績								イ	http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例: 子宮頸がん、子宮体がん
	子宮頸がん、子宮体がん